

第3回理事会議事録

1. 日時 : 2012年7月27日(金)午後6時30分～9時15分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル2F
3. 出席者:【出席11名】 鳩山勝郎、山口知也、兼岩芳樹、神代高弘、ロバート・ゲラー、齋藤陽子、島村京子、中谷忠義、久富浩、平田眞、山田和彦
【欠席2名】 細田博之、寺本直志
【監事3名】 大泉紘一、成田秀則、水谷建
【事務局3名】 大政事務局長、清水普及事業部長、鈴木競技会事業部長代行
【オブザーバー1名】 宮内宏顧問弁護士
(理事現在数:13名、定足数7名、本人出席11名)

4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第1号議案 第2回理事会議事録案の承認について
議事録案を承認した。

第2号議案 委員会委員の承認について
企画委員会、人事委員会、ルール委員会、代表選抜委員会より委員名簿が提出された。
このうち神代理事が人事委員指名を辞退し、その他の委員会委員の就任を承認した。

第3号議案 諸規則改正について
山田企画委員長より企画委員会規則改正案が提出され、第2条に活動内容について記載したこと、企画委員の資格をこれまで会員に限っていたものを会員会友に変更したと説明があった。検討の結果この改正案を承認した。
久富代表選抜委員長より代表選抜委員会規則、代表助成規則、代表選抜規則、代表選手規則の各改正案が提出された。代表助成規則のうち、世界選手権での報奨金について検討の結果、オープン、ウィメンズは決勝ラウンド8位以内、シニアは決勝ラウンド4位以内を報奨金支給の対象とすることに決定した。代表助成/選抜/選手規則各改正案については2012年度に募集する代表選抜試合から適用することとし、2012年WMSGについては改正前の規則を適用することを確認した。
中谷理事より、規則の変更が委員会委員の過半数の賛成で起案し、理事会の

承認を得て行うことになっているが、理事会が管轄する委員会は理事会の決議で規則の変更を行えるように修正するべきとの提案があり、検討の結果、「この規則の変更は、理事会の決議により行う」という文章に変更することに決定した。他の理事会管轄の委員会規則についても同様に変更を行う。

第4号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

山田委員長より7月13日開催の、新メンバーによる第1回の企画委員会での審議内容について、以下の報告があった。

- ・今年度中に普及事業の中期計画の策定を行う。
- ・今後時間をかけてセンター・クラブ事業の見直しを行う。
- ・公認料改定、複雑な会費制度の見直し、消費税対応の検討

2. 九州支部

鳩山九州担当理事より、来年4月以降、プラザ独立までの約1年間、スムーズな独立への支援として、以下の2点の提案があった。

1. 固定費支出を抑えるために、支部が負担してきた家賃についてはプラザの負担とする。
2. プラザ専任職員の業務委託は独立まで継続する。

中谷理事より、来年度以降の九州支部関連予算については会員に説明して承認を得た上で行うべきとの発言があり、鳩山担当理事より予算化の際に明記するとの回答があった。また、神代理事よりこれまで6年間の支部活動の総括を行い、記録に残してほしいとの提案があった。

また、プラザ独立のための作業を担当の神代理事から以下の説明があった。

- ・今年度のプラザの予算では28万円の黒字となっているが、実際は直営のため約140万円の公認料が支払われていないことと家賃の半額(120万円)を九州支部が負担しているため、実質的にはまだ黒字化していないといえる。
- ・今後黒字化させるための対策として、
 - (1) 専任マネージャー費用を削減し、ボランティアによる運営にする。専任マネージャーがいる間にスタッフの育成を行う。
 - (2) 他地区と同一レベルのゲーム参加費の負担増を徐々にお願する。
 - (3) 体験教室／入門講習に対する普及事業部の助成制度を最大限に活用。

以上の対策を早急に取り、今年度末に実質的な黒字化を実現させたい。

- ・黒字化のための懸案事項として、常勤マネージャーとの業務委託契約を行うと、プラザの黒字化が困難なため、来年度以降の契約について

再考を求めたい。またプラザの家賃について約 40 坪の会場を使用しているが、契約上 20 坪分の賃借料しか支払っていない。今後の賃借料について確認する必要がある。

- ・今年度中に改善を実施して、2013 年度に実質的な黒字化を実現させ、2014 年 4 月より福岡ブリッジプラザを独立させる。

検討の結果、鳩山担当理事提案の第 2 項を否決し、2013 年度は 2014 年 4 月の独立を見据えて独立後と同じ体制でプラザの運営を行い、必要に応じて公認料、家賃などある程度のサポートを行うこととし、2013 年度以降の業務委託契約は結ばないことに決定した。

10 月以降 6 ヶ月かけて、前田良徳氏にディレクター、講習会講師へ移行してもらうようにする。家賃については九州支部に家主との交渉を依頼する事に決定した。

3. 競技委員会

鈴木競技会事業部長代行より、IMP リーグ編成の見直しに関連し、過去にさかのぼった獲得ポイントを反映させたシードポイント計算方法の変更について検討中との報告があった。

年内に結論を出し、2013 年春の IMP リーグから新シードポイントでリーグ編成を行う予定との説明があった。

4. 代表選抜委員会

久富委員長より今年の WMSG および来年の APBF 選手権の報奨金の検討について提案があった。検討の結果、WMSG オープン、ウィメンズについては決勝ラウンドベスト 16 に入った場合 5 万円、ベスト 8 入った場合 10 万円を追加して 15 万円とする。WMSG シニアについては決勝ラウンドベスト 4 に入った場合 15 万円とすることに決定した。

来年の APBF 選手権については代表選抜委員会で検討を行い次回理事会に報告を求めることになった。

宮内顧問弁護士より、代表助成規則に報奨金は理事会で決定して募集要項に掲載することになっているため、会報への募集要項掲載より早い時期に金額を決定するべきと指摘があった。

5. 普及事業部

清水普及事業部長より、普及事業部の活動状況についての報告があった。

7 月 30 日および 8 月中旬に西日本新聞に APBF の告知広告を掲載する。

Ocean's Fukuoka 夏号（福岡観光コンベンションビューロー機関誌）に告知記事を掲載した。

体験用チラシ、ポスター、初心者大会用チラシを作成した。

7 月 10 日に福岡ブリッジプラザで記者懇談会を開催した。

世界ユースチーム選手権に代表選手を派遣中。

APBF コングレス終了後、9月25日に福岡ブリッジプラザで体験教室を開催する。

6. 国際交流事業部

Yeh Bros Cup および NEC 杯の告知広告を作成して WMSG, ACBL ナショナルの Daily Bulletin に掲載を依頼したと報告があった。

Yeh Bros Cup 用スタッフ用シャツの色について、白、赤、黒3色の候補が示され、赤を希望することに決定した。

大政事務局長より APBF コングレス本戦の参加状況とスケジュールおよび賞品について説明があった。

8月24, 25日に開催される APBF 代表者会議については主催国の会長として鳩山会長代行が、APBF 事務総長として中谷理事が出席するが、日本からの代表者会議への出席委員として、山口副会長およびゲラー理事に依頼する事に決定した。

山口副会長より高橋陽子前普及事業部長を APBF コングレスに招待する提案があり、これを承認した。

第5号議案 その他の議案

1. 次回の理事会開催について

次回理事会は2012年9月28日（金）18時30分に開催する。

当日配布書類：第4号議案「鳩山九州担当理事提出文書」

「福岡ブリッジプラザ自立のために」

「2012年ワールドマインドスポーツゲームズおよび2013年度 APBF 選手権日本代表に対する報奨金について」

「2013 Yeh Bros Cup – NEC Cup のシャツのデザイン」

「第6回 APBF 実行委員会議事録」

「西日本新聞7月30日告知広告」

平成 24 年 7 月 27 日 (2012 年)

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 3 回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 大泉 紘一

監 事 成田 秀則

監 事 水谷 建